

鶴田町長に

相川正光氏が再当选



鶴田町長 相川正光

常にチャレンジ

このたび、先に行われた鶴田町長選挙におきまして、無投票当選という栄に浴することができ、引き続き鶴田町長の重責を担うことになりました。あらためて私に課せられた使命と責任の重大さを痛感し、身の引き締まる思いであります。

これまでの4年間では、子どもの医療費無料化の小学生までの拡大、道の駅つるた「鶴の里あるじゃ」のリニューアルなどの施策を実現することができました。

また、未来を担う子どもたちの教育環境を整えるため、町内6つの小学校の統合を進め、校舎や給食センターの建設事業に取り組み、工事の発注までこぎ

着けることができました。

これもひとえに、議員の皆さまをはじめとした町民の皆さまのご理解とご協力のたまものであり、皆さまには心から感謝申し上げます。

私は2期目の立候補にあたり、まちづくりの方向性として『仕事と暮らしを支える町』『健康で長生きできる町』『次世代を育成する町』の3つの柱を掲げさせていただきました。

仕事と暮らしを支える町を実現するために、町民の皆さまの負担を軽減する国民健康保険税のさらなる負担軽減に取り組み、町の商品券を活用するなどし、地域でお金を循環させる施策など、町民の皆さまの生活を支える事業に取り組みでまいり

ます。

健康で長生きできる町を実現するために、特定健診の受診率の向上を図り、禁煙外来への助成事業の実施など、町民の皆さまの健康づくり事業に取り組みでまいります。

次世代を育成する町を実現するために、子どもの医療費無料化の中学生までの拡大、給付型奨学金の創設、子どもの虫歯対策としてフッ素塗布の回数を増やすなど、子どもたちの育成事業に取り組みでまいります。

これらのまちづくりの実現に向けて、さまざまな施策を進め、「常にチャレンジ」する心構えで、町政運営に邁進してまいります。覚悟であります。

また、第5次鶴田町総合計画の基本目標である「早寝早起き

7月31日（火）、任期満了に伴う鶴田町長選挙が告示され、無所属で現職の相川正光氏以外に立候補者がなかったため、8月6日開催の選挙会において、無投票での当選が決定しました。
任期は平成30年8月21日から4年間です。

朝ごはん 健康で共に支え合う住みよいまちづくり」を実現し、鶴田町総合戦略で掲げる「産業の充実による活力あるまちづくり」「生活基盤の充実による誰もが住みたくなるまちづくり」「健やかで安心な暮らしを紡ぐ次世代育成のまちづくり」「早寝早起き朝ごはん、健康長寿のまちづくり」に向けて、粉骨砕身努力してまいります。所存でございますので、町民の皆さまにはより一層のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。さて、2期目の就任のあいさつとさせていただきます。

副町長に

成田正利氏が就任



副町長 成田 正利

平成30年度第1回鶴田町議会臨時会議において、成田正利氏が鶴田町副町長に選任されました。任期は平成30年8月21日から4年間です。

経歴

昭和32年生まれ。60歳。昭和51年青森県立五所川原農林高校卒業。卒業後は、北土地改良事務所勤務。その後、昭和52年度から鶴田町役場職員として勤務。農業委員会事務局次長、選挙管理委員会事務局次長、建設整備課長を歴任。平成30年3月に定年退職後は、企画観光課観光班で専門員として勤務。

副町長就任のごあいさつ

このたび、議会の同意をいただき、8月21日付けで副町長に就任いたしました。もとより微力ではございますが、相川町長を補佐し、議会や関係団体などの皆さまと連携を図りながら、町民の皆さまに「住んで良かった」と思えるまちづくり実現のため、誠心誠意努める所存でございます。町民の皆さまのご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。